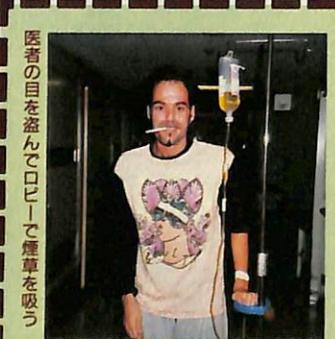


# オタクは「オタクであること」をカミングアウトせよ



中央の赤い車が「メッサーシュミット」のレプリカ。その左のMAZDA・T1500はNOx法(排ガス規制法)により、来年から首都圏では乗れない。「でも乗り続けますよ」と徳江氏



医者の目を盗んで口ひげで煙草を吸う

## パトちゃん日記

9月24日

国際エイズ会議やらタイ取材やらで、

どうどうダーランしてしまった。風邪

で熱があるのにDJ活動するため、

解熱剤と鎮痛剤と滋養強化剤と、さ

らにAZT(=HIVの薬)を一気に

飲んでしまったのもいけなかつた。

熱が下がらなくなってしまったのだ。

病院に行ったら「バカ!」の一言で、

即、一日強制入院。点滴を腕に打たれてしまつて、これじゃあこつそり

つてるぐらいだつたら、やらなければどうがいいよ。普通のオタクつて、昼間は会社に行って夜は延々マンガ描き続けるとかつていう人が多いと思うけど、そういうのつて気持ち悪いもの。ずっとオナニーしてゐみたい。

僕も仁君も、最初は普通のサラリーマンしてたけど、今は趣味が仕事になつちやつてるからね

徳「日本でそうするのはリスク

が大きすぎるかもね。いちど会

熱が下がらなくなつたのだ。

病院に行つたら「バカ!」の一言で、

即、一日強制入院。点滴を腕に打たれてしまつて、これじゃあこつそり

抜け出すこともできず、おとなしく寝てるしかない。ドクターは僕の性格をよく理解している。えらい!!

10月2日 入院騒ぎも無事終わり、テレビ朝日の「えびす温泉」の収録に。TV出演つてことで朝からワクワクしてた

のに、楽屋に入つたらDJレクター

さんから「はい、これね」ってハゲ

づら渡されちゃつた。こういうの困

るなあ、事前に言ってくれないと

つてかつこよく言うつもりが、思わ

ず「これ最高!」って言つちやつた。

僕のイメージつてこんなのがな?

まさにイメージ通り!! (撮集部)

この国では

パ「それは日本のシステムに問題がある

よ。でも、自分の精神のために隠さない

いようがいいと思うんだと……」

パ「なん、またまた毛深い話だなあ

が多いんだもの」

徳「僕はこう思うんだけど。日本人は自

己の文化を一段低く見る傾向があつて、

アニメは世界で日本が一番だから、暗い

社会を辞めたらなかなか戻れないんですよ、

この国では

パ「それは日本のシステムに問題がある

よ。でも、自分の精神のために隠さない

いようがいいと思うんだと……」

パ「なん、またまた毛深い話だなあ

が多いんだもの」

徳「僕はこう思うんだけど。日本人は自

己の文化を一段低く見る傾向があつて、

アニメは世界で日本が一番だから、暗い

社会を辞めたらなかなか戻れないんですよ、

この国では

パ「それは日本のシステムに問題がある

よ。でも、自分の精神のために隠さない

いようがいいと思うんだと……」

パ「なん、またまた毛深い話だなあ

が多いんだもの」

徳「僕はこう思うんだけど。日本人は自

己の文化を一段低く見る傾向があつて、

アニメは世界で日本が一番だから、暗い

社会を辞めたらなかなか戻れないんですよ、

この国では

パ「それは日本のシステムに問題がある

よ。でも、自分の精神のために隠さない

いようがいいと思うんだと……」

パ「なん、またまた毛深い話だなあ

が多いんだもの」

徳「僕はこう思うんだけど。日本人は自

己の文化を一段低く見る傾向があつて、

アニメは世界で日本が一番だから、暗い

社会を辞めたらなかなか戻れないんですよ、

この国では

パ「それは日本のシステムに問題がある

よ。でも、自分の精神のために隠さない

いようがいいと思うんだと……」

パ「なん、またまた毛深い話だなあ

が多いんだもの」

徳「僕はこう思うんだけど。日本人は自

己の文化を一段低く見る傾向があつて、

アニメは世界で日本が一番だから、暗い

社会を辞めたらなかなか戻れないんですよ、

この国では

パ「それは日本のシステムに問題がある

よ。でも、自分の精神のために隠さない

いようがいいと思うんだと……」

パ「なん、またまた毛深い話だなあ

が多いんだもの」

徳「僕はこう思うんだけど。日本人は自

己の文化を一段低く見る傾向があつて、

アニメは世界で日本が一番だから、暗い

社会を辞めたらなかなか戻れないんですよ、

この国では

パ「それは日本のシステムに問題がある

よ。でも、自分の精神のために隠さない

いようがいいと思うんだと……」

パ「なん、またまた毛深い話だなあ

が多いんだもの」

徳「僕はこう思うんだけど。日本人は自

己の文化を一段低く見る傾向があつて、

アニメは世界で日本が一番だから、暗い

社会を辞めたらなかなか戻れないんですよ、

この国では

パ「それは日本のシステムに問題がある

よ。でも、自分の精神のために隠さない

いようがいいと思うんだと……」

パ「なん、またまた毛深い話だなあ

が多いんだもの」

徳「僕はこう思うんだけど。日本人は自

己の文化を一段低く見る傾向があつて、

アニメは世界で日本が一番だから、暗い

社会を辞めたらなかなか戻れないんですよ、

この国では

パ「それは日本のシステムに問題がある

よ。でも、自分の精神のために隠さない

いようがいいと思うんだと……」

パ「なん、またまた毛深い話だなあ

が多いんだもの」

徳「僕はこう思うんだけど。日本人は自

己の文化を一段低く見る傾向があつて、

アニメは世界で日本が一番だから、暗い

社会を辞めたらなかなか戻れないんですよ、

この国では

パ「それは日本のシステムに問題がある

よ。でも、自分の精神のために隠さない

いようがいいと思うんだと……」

パ「なん、またまた毛深い話だなあ

が多いんだもの」

徳「僕はこう思うんだけど。日本人は自

己の文化を一段低く見る傾向があつて、

アニメは世界で日本が一番だから、暗い

社会を辞めたらなかなか戻れないんですよ、

この国では

パ「それは日本のシステムに問題がある

よ。でも、自分の精神のために隠さない

いようがいいと思うんだと……」

パ「なん、またまた毛深い話だなあ

が多いんだもの」

徳「僕はこう思うんだけど。日本人は自

己の文化を一段低く見る傾向があつて、

アニメは世界で日本が一番だから、暗い

社会を辞めたらなかなか戻れないんですよ、

この国では

パ「それは日本のシステムに問題がある

よ。でも、自分の精神のために隠さない

いようがいいと思うんだと……」

パ「なん、またまた毛深い話だなあ

が多いんだもの」

徳「僕はこう思うんだけど。日本人は自

己の文化を一段低く見る傾向があつて、

アニメは世界で日本が一番だから、暗い

社会を辞めたらなかなか戻れないんですよ、

この国では

パ「それは日本のシステムに問題がある

よ。でも、自分の精神のために隠さない

いようがいいと思うんだと……」

パ「なん、またまた毛深い話だなあ

が多いんだもの」

徳「僕はこう思うんだけど。日本人は自

己の文化を一段低く見る傾向があつて、

アニメは世界で日本が一番だから、暗い

社会を辞めたらなかなか戻れないんですよ、

この国では

パ「それは日本のシステムに問題がある

よ。でも、自分の精神のために隠さない

いようがいいと思うんだと……」

パ「なん、またまた毛深い話だなあ

が多いんだもの」

徳「僕はこう思うんだけど。日本人は自

己の文化を一段低く見る傾向があつて、

# サン・プラザ中野がお尻の秘密をカミングアウトした!!



キース・ヘリングのポスターと同じポーズをとてもらった。が、あまりにも個性的すぎる2人ゆえ、全然ポップな感じがしないのだった



パトリックDJ情報●11/3(木)DISCO BABY at YELLOW

次週はHIV感染6年目突入記念『次のステップに向けて彫ったTATTOO! お楽しみに!!

カミングアウトとは  
直訳すれば“公言する”ことだが、  
パトリックはさらにこの単語の意味を拡大し「自分の生き方を自分で選び、これがいいと伝えること」としている。

アトでできることありますか?」  
中「そうですねえ……刺青入れたとか」  
バ「エッ、どことこ?」  
中「お尻」

バ「オシリ、見えないじやない」  
中「お尻は中から変えていけばいいの!」  
スキンヘッドにサングラスまで行つちゃうと、外側は他にすることないもの」

## パトちゃん日記

10月7日

「あにき」と呼ばせてもらってるサン・プラザ中野さんとのインタビュー。

普段は結構無口で、僕がベラベラしゃべつてると、ずばっとキツイこと言つたりして、そういうところに惹かれている。取材後、今度のDISCO BAYで、あにき。がVOICEパフォーマンスをしてくれることになった。僕はうれしさのあまり、頭がアフロヘアになっちゃつた!! 似合つて言ってくれる人も多いけど、陰でシモンマサトって言つてる人、覚悟しどきなさいよー!!

お金を稼ぎたかつたら  
H-TVを持つといいぞ(笑い)

パトリック 最初にエイズのチャリティにかかるわったのはいつなの?」

サン・プラザ中野 「東京都のキャンペーン。確か'92年かな」

バ「きっかけは?」

中「いや、別に。『出でもらえますか』って言わされたから、『いいよ』って」

バ「子供の頃に小児麻痺だったって聞いたんですけど」

中「そうですよ。ボリオで右半身が麻痺してて、顔も曲がつて」

バ「そういえば、箸の持ち方ボクより下手だもんね!」

中「外国人があれに箸の持ち方説教するか!」

バ「今キャンペーン活動したこと、

小児麻痺だったことは関係あるの?」

中「少しはあると思う。デビュー前から差別とか、社会のこととか歌つてたし」

バ「僕に会うままでって、H-TV持つてがんばつて人に会つたことないと思うんだけど、一番最初の印象は覚えてる?」

中「会う前から色々吹き込まれてたからさあ。変な外人とか、日本語はできるから安心だとか(笑い)。でも予想以上に変だったから良かった(笑い)。普通はH-TVポジティブだと“暗い人生背負つて……”みたいに思つじやない。そういうのを感じさせない明るさがあったから、初めてからすごい自然にできましたね」

バ「そういえばエイズの歌もあったでしょ。泉谷さんのライブでやつたよね」

中「おれはエイズじやねー!」ってやつね。で、パトちゃんが隣で『おれはエイズだよー』(バト注※正確にはH-TVポジ

ティブだよ)。でまた『おれはエイズじやねえ、今のところはねー!』(笑い)

バ「そうやって活動てきて、これから目標っていうのは何ですか?」

中「どうせ薬をつくるのはおれじゃないから(笑い)。日本でエイズ爆発が起こらないようにちよつとでも力になれればいいなあとは思いますね」

バ「爆発すると思う?」

中「どうかなあ……ドラッグなんかでもそうだけど、治療のために国がジャパンキーに注射器配つてる外国なんかと違つて、日本つて、実際にあつてもないことにちやつてる国じやない。エイズについても同じだからねえ」

バ「そうだね……さつき小児麻痺の話が出たんだけど、こないだ父とエイズの話をしてたら、アメリカで'50年代に小児麻痺が流行つた時の現象とそつくりだって

言うのよ。で、小児麻痺は国がお金かけ絶対広がらないようにしたのね。でも

エイズは……」

中「ゲイから始まつてのからと」

バ「そうなの。だから僕なんかがこうやつて色々活動してるんだけど。でもたまに、『それで儲かつてんじゃん』なんて目で見られたりすることもあるよ」

中「儲かつていいじゃない。資本主義なんだし。パトちゃんだったら儲けるのが賛美活動になるんだから。なんか言わ

れたら、『みんなも稼ぎたかつたらH-TV持つてみれば』とか(笑い)」

バ「中野さんはもしエイズだつたらカミングアウトしますか?」

中「するよ。どうやつたら格好いいか少し考えてから。おれだつたらパトちゃんより稼げるもの(笑い)」

バ「じゃあさあ、何か今ここでカミング

今週のカミングアウト

サン・プラザ中野さん

1960年、山梨県甲府市生まれ。ご存じ『爆風スランプ』のVOCAL。音楽を通じ、知ることを通じ、エイズを何とかしたい』という想いのもとに多くのアーティスト、ミュージシャンが参加しているAAA(Act Against AIDS)運動に昨年から参加。今年も12月1日の世界エイズデーには、全国各地でコンサートが開かれ、もちろん爆風スランプも参加する。運動の参加証は中野さんが胸に着けているキース・ヘリングのバッジ。全国のレコード店、CDレンタル店、ファミリーマート、コンサート会場で販売されているとのこと。

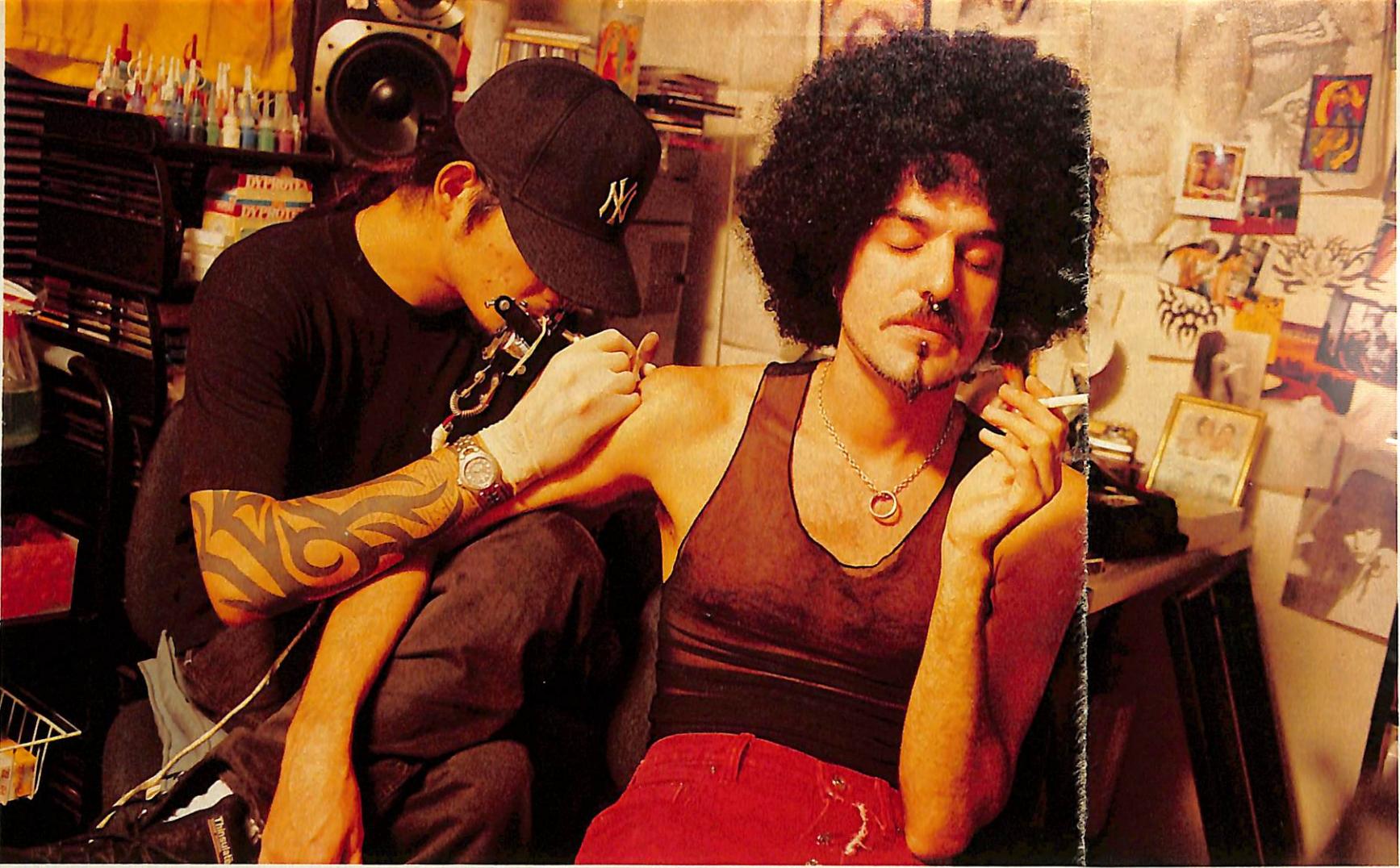
♪おれはエイズじやねー! いまのところはねー!! ♪

H-TVを持ってて5年のローハ、パトリックが公私共に親しくするサン・プラザ中野さんに登場願つた。エイズについての軽くて深じいお話し!!



撮影/高橋清人

入れ墨をしてあげると、その人のことが深く心に刻まれる



パトリックによると、入れ墨は思っていたほど痛くない、らしい。急に日焼けしてヒリヒリしているような感じなんだって。所要時間は1時間半くらいだった

「HIV感染6年目突入!! 次なるステップへの刻印」  
アーティストのジュンさんが右腕に入れ墨をフレゼントしてくれた  
10月12日

## パトちゃん日記

10月12日  
HAPPY BIRTHDAY!  
つことでPARTYに集まつてく  
れたみんな、ありがと!! 僕のバ  
ースデイースーツ姿(生まれた日だから  
生まれたままの姿=真っ裸)を拌め  
て幸せだったでしょ? その日が初  
対面だった某ラジオ局のプロデューサーさんは幸せのあまり絶句状態。  
この日は僕の誕生日であると同時に、僕の中にいるHIVウイルス君の6歳の記念日でもある。6年前の10月11日の真夜中、その時愛してい  
た人とSEX中にコンドームが破れてしまつたのだ。その人がHIVを持っていたことはもちろん知つてい

若いお客様がほとんどだけ、彼らに対しても何か思うことはある?」  
「僕がブラジルで入れ墨に出合った頃は、自分自身をデザインしていくような、すごくロマンティックなものだったんだよ。だから、自分が何を彫りたいかもはつきりしていた。でも、今東京の入れ墨ってそういうのじゃないでしょ? ボディアートを特集した雑誌の写真を見て『カッコいい』っていうだけのノリで来て、彫つてから後悔する人も多いんだ。精神的に後悔するんだよ。彫つたこと自体が嫌

「若いお客様がほとんどだけ、彼らに対する何か思うことはある?」  
「僕がブラジルで入れ墨に出合った頃は、自分自身をデザインしていくような、すごくロマンティックなものだったんだよ。だから、自分が何を彫りたいかもはつきりしていた。でも、今東京の入れ墨ってそういうのじゃないでしょ? ボディアートを特集した雑誌の写真を見て『カッコいい』っていうだけのノリで来て、彫つてから後悔する人も多いんだ。精神的に後悔するんだよ。彫つたこと自体が嫌

「普通と違う感じなんだろうか?」  
「精神的に彫りにくいくてことはあるかもしれないけど、HIVだから特別どうのつてことはない。客にかわりはないし、

「それで、今までHIVの人には彫つたことがあるのか?」  
「ないね」  
「普通と違う感じなんだろうか?」  
「精神的に彫りにくいくてことはあるかもしれないけど、HIVだから特別どうのつてことはない。客にかわりはないし、

HIVという事実があるってこと以外の何物でもないから。でも、危険は伴うから、衛生には気を使つてることだよ。僕もそういう生き方をしたかったんだ」  
「入れ墨を彫つてる時つて、どういう心境?」  
「特別な心境。入れ墨は、すごく精神的なことだからね。針が人の肌を通して自分の心に刺さつてくる感じ……だから、

「一生できる仕事だと思ったから。自由だし、他人に何かを与えるし……DJと同じだよ。僕もそういう生き方をしたんだけど。だから、君のこと理解できるかもしれない」  
「僕はHIVなんだけど、それでも入れ墨することはどう思う?」  
「いいと思うよ。HIVだから入れ墨をしないなんてのはナンセンスだもの」  
「僕はHIVを持ち始めた日でもある。記念にタトゥーを入れ墨をフレゼントしてくれた日本人の父とブラジル人の母を持つ。原宿のマンションの一室で彫り(9代目影和歌)と共にタトゥー・スタジオ「RED WINE」(☎03-3796-1443)を構える。13歳で入れ墨と出会い、16歳の時初めて自分自身で入れ墨を彫つた。その後ブラジルに入れ墨会を作ったという師匠のところへ弟子入りし、日本の入れ墨に憧れて東京へやって来た。「東京は今、すごいボディアートブームなのに、入れ墨に関する情報が少なすぎる。ぜひタトゥー専門雑誌を作りたい」と語る。



パトリックDJ情報●11/3(木)文化の日 DISCO BABY at YELLOW

次週はヒーリング・アーティストのクミコ・クリストフさんの取材! お楽しみに!!

今週のカミングアウト  
  
**ジュンさん(22歳)**  
1972年ブラジル、ヘシフェ生まれ。日本人の父とブラジル人の母を持つ。原宿のマンションの一室で彫り(9代目影和歌)と共にタトゥー・スタジオ「RED WINE」(☎03-3796-1443)を構える。13歳で入れ墨と出会い、16歳の時初めて自分自身で入れ墨を彫つた。その後ブラジルに入れ墨会を作ったという師匠のところへ弟子入りし、日本の入れ墨に憧れて東京へやって来た。「東京は今、すごいボディアートブームなのに、入れ墨に関する情報が少なすぎる。ぜひタトゥー専門雑誌を作りたい」と語る。

# OUT! OMING\*

パワフル HIV ポジティブ

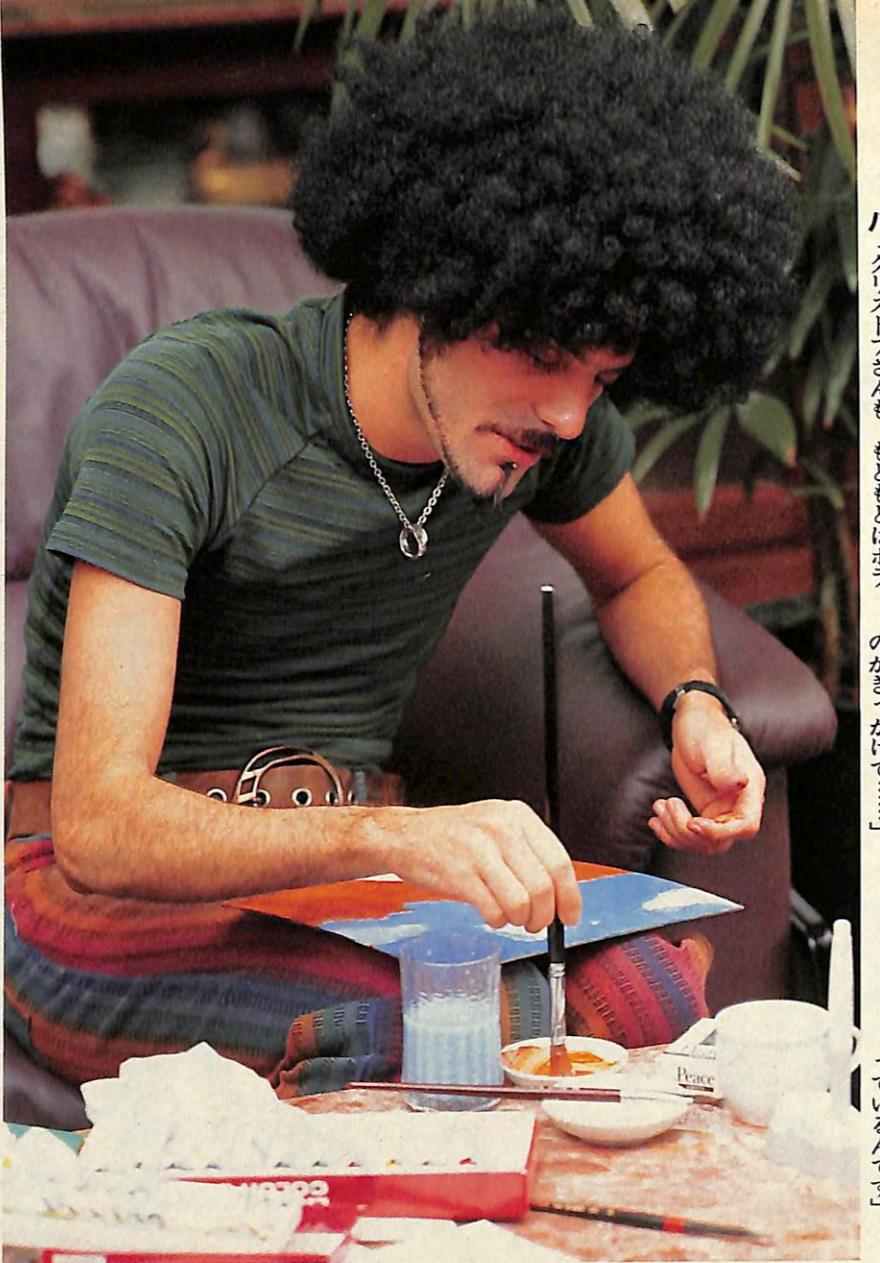
## パトリックのカミングアウト 大作戦

13 JUNE



撮影/高橋清人

# アートが病を癒し、生きるエネルギーを与えてくれる



絵を描き始めるや、ひと言も話さず熱中してしまったパトリック。この絵も千葉北総病院に飾られることになった



パトリックDJ情報●11/16(水)DISCO BABY HOME PARTY at MANIAC LOVE

次週は「学園祭で高校生に正しいコンドームのつけ方教えるぞ!!」お楽しみに

護婦さんは病気だけに囚われる時間がすこく多くなるの

**絵を描いて話をすることと  
患者の心の痛みを取り除く**

ク「いや用意ができたので、そろそろ絵でも描きながら話しましようか」  
バ「えつ、僕下手クソなんだけど……実は昨日絵柄を考えて眠れなくて(笑い)」  
ク「絵柄は何でもいいんですよ」  
バ「クリストフさんも、もともとはボラ

護婦さんは病気だけに囚われる時間がすこく多くなるの

**絵を描いて話をすることと  
患者の心の痛みを取り除く**

ク「いや用意ができたので、そろそろ絵でも描きながら話しましようか」  
バ「えつ、僕下手クソなんだけど……実は昨日絵柄を考えて眠れなくて(笑い)」  
ク「絵柄は何でもいいんですよ」  
バ「クリストフさんも、もともとはボラ

ンティアしてたんですか?」  
ク「そう。アメリカのいくつかの病院でボランティア活動をしつつヒーリングアートの勉強をしていました」  
バ「ヒーリングアートを始めたきっかけは何かあるんですか?」  
ク「私はある難病にかかる、3回も大手術をしたんです。その時に、日本の殺風景な病院や、そこで死んでいく癌の末期患者の人たちを目の当たりにしたのがきっかけで……」

バ「エイズや癌の患者さんに接するのはどんな感じですか?」  
ク「普通の患者でも、末期患者でも、肉体的な苦しみという点では同じだと思います。ただ、末期の患者さんは、自分の死がそこまで来ていって、これからどうやつて生きいくかでほんとに深刻に悩んでるでしょう。絵を描いたり話をしながら心をほぐして、そういう精神的な苦しみを少しでも取り除いてあげられればと思うんです」

バ「僕はHIVだけど、好きな時に好きなことをすればいいって思う。心の痛みを和らげるためには、そういうのとクリストフさんの言ってるることはすごい似てると思うんだけど」  
ク「そうね。でも、自分でそこまで意思を持つてるとか、自分は少ないんですよ。パトリックは病気に勝ってるのよ」  
バ「そうなの? 自分ではそこまで考えたことないけど。ほんと嬉しいです。ありがとう!」

千葉県にある日本医科大学付属千葉北総病院は、2月にオープンしたばかり。緑に囲まれた25万坪の広大な敷地に建つ建物のロビーは、ホテルのようだった。まずは山本保博院長に話を聞いた。

**パトリック**「ここは普通の日本の病院と違つて、玄関が広いし、レストランもあつて、ホテルみたい。ほんとに病院の吳にも味もしないですね」

**山本院長**「都会と違つて、外に出れば水も緑もいっぱいありますからね」

バ「なんか、アメリカの病院みたいな感じがする」  
山「私はアメリカのメイヨークリニックにいたんですよ」  
バ「あ、そうですか。知つてる知つてる。」

クリストフ「まだ少ないですね」  
バ「具体的にはどういうことをやるのかなあ」  
ク「題材は特にないんですが、散歩に行って摘んできた花を患者さんに描いてもらったり、家族や医者に言えないことを絵で表してもらって、それを私が家族や医者にファードバックしたりもします。」

山「どんな感じで治療します?」  
バ「どんな感じで治療します?」  
山「来ますよ」  
バ「どんな感じで治療します?」  
山「どんなって……普通の疾患と同じようになりますよ。別に特別なもんじゃないよ。そう思わない?」  
バ「そう。そこがポイントですよね。ウイルスや感染の仕方は特別だけど、それ以外は普通の病気と同じだもの……ほんとに、こんなところだったら、僕も入院したいなあと思うけど、こんなにお金かかる

それから、手術後でご飯が食べられない患者さんに食パンの絵を持って行ってあげたり……この病院の廊下には、そういう絵が沢山飾つてあるんです」  
山「最善を尽くすよりもしますから」  
バ「そのヒーリングアートをやってる人については、外国にはいっぱいいるのかな?」  
バ「ここにはエイズの患者さんも来ますか?」  
山「来ますよ」  
バ「どんな感じで治療します?」  
山「どんなって……普通の疾患と同じようになりますよ。別に特別なもんじゃないよ。そう思わない?」  
バ「そう。そこがポイントですよね。ウイルスや感染の仕方は特別だけど、それ以外は普通の病気と同じだもの……ほんとに、こんなところだったら、僕も入院したいなあと思うけど、こんなにお金かかる

つて、やってけるんですか?」  
山「最善を尽くすことに関しては……これからは、ボランティアをもつと活用していかなければと思つんですが」  
バ「僕はこないだある病院に入院したことに関しては……」  
山「たんですが、点満付けたまま売店に買いたい物に行つてたもんなんあ……アメリカの病院で、キャンディ・ストライバーづつていうのがあるの。看護婦さんの服みたいなのにピンクと白のストライプがついてる服を着て、ボランティアなのね。そういう人たちがいっぱいいるから、看

# OUT! COMING

パワフル HIV ポジティブ

## パトリックのカミングアウト 大作戦

14 5月

日本には、患者の心を癒す病院づくりが欠けている

病院にはちょっと違うさいパトリック。千葉にヒーリングアート(芸術)で患者の病と心を癒す)を取り入れた病院があるというので訪問した

今週のカミングアウト

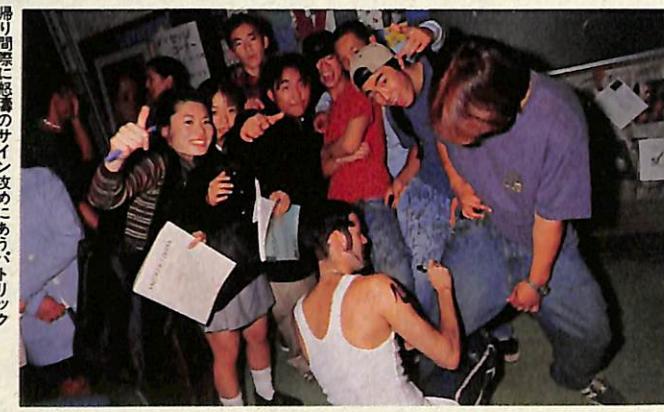
クミコ・クリストフさん

1964年、山口県生まれ。幼い頃に難病を患い、多くの時間を病院の中で過ごした。その経験から、病院の中にアートを取り入れることで病気に対する患者の不安感を取り除き、心の安らぎと回復への意欲を与える「ホスピタル・ヒーリング・アーティスト」という仕事を就く。もちろんこの職業は厚生省で認可されているものではなく、実質はボランティアの延長として医療活動に関わるものである。千葉北総病院ではヒーリングアートを取り入れたことによる医学的効果を検証すべく、データを収集しているという。



着いて、まずその広さにビックリ! 山本院長が出迎えてくださった

# 日本人のペニスは結構皮が余つてるので要注意だぞ!!



帰り際に怒濤のサイン攻めにあうパトリック

先「裏表がわかったら精液溜めの空気を抜く(※図①参照)。ここまで見ないので起きるようにしなくてやね」  
バ「みんなSEXは暗い所でするほうが多いもんね」  
ここで5人ほどの生徒がチンチンの模型にコンドームを装着した。

先「完璧な人は今日もいなかつたですね。日本人のペニスって中でもアナルでも、これだと摩擦ではずれちゃうんです。だから、一度皮を上に戻してひつぱって、もう1回根元までコンドームをかぶせて(※図③参照)……」

こうすれば、皮がある人のほうがむしろはずれにくくんだよ」  
バ「肌の一部になっちゃうからね」  
先「ところで、コンドームってどのくらい膨らむかわかる?」

先生の隣でパトリックが風船のように膨らましていたコンドームが音をたてて破れた。



パトリック情報●16水DISCO BABY HOME PARTY at MANIAC LOVE

## パトちゃん日記

10月31日

ハロウィンは楽しみました!クリスマスにしろヴァレンタインにしろ、日本のこういうのって意味もわからずに入騒ぎしててちょっとコワい。と感じてる僕だけど、お祭り気分には自然と体が反応してしまう哀しい性。気が付くとオオカミ君の衣装を着込み、訳もわからずお酒が入り、「明日は早いんだ」と言いながら踊り狂い、結局朝までコース。君もこれで日本人に一步近づいたなって神の声が聞こえたような気がする。

これじゃ頭がぶつかって運転できない



見事講習を終え、コンドームを手にして自信に満ちあふれた(?)高校生たち

**高校生5人が挑戦したが、完全にできたのは0人**  
満員の教室で、岩室先生がコンドームを黒板の前に並べていく。  
先生「今日はなんでコンドームのつけ方講座でパトちゃんと一緒にH.I.V.がたくさんいるんです」  
パトリック「でも僕はまだウイルス持てるだけでエイズじゃないの」  
バ「学校なんだからそれは聞いたやダメだつて(笑い)」  
先「そうか……でも、僕の調査では高校生の4人に1人はセックスしてるらしいよ」

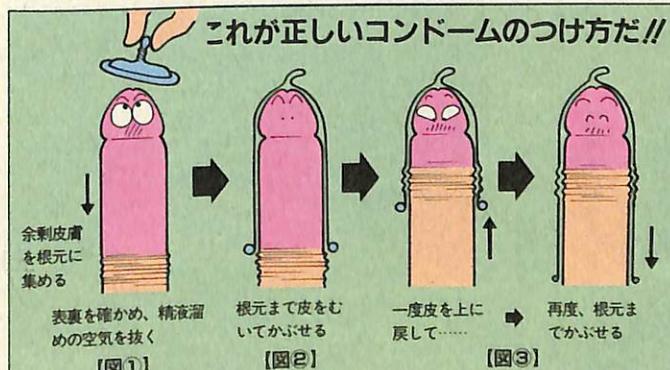
バ「なんだ、あんたたちやつてんじやん(笑い)」  
先「今日はセーフセックスの話をするんだけど、パトはセーフセックスは知ってるよね?」  
バ「キスとか、裸でベタベタするとか……コンドーム使うとか」  
先「でもね、みんなちゃんとコンドームつけてないんだよ。今日は僕が作ったチンチンの模型に実際にコンドームをつける競争をしてもらいますから」  
教室の高校生に1つずつコンドームが配られた。

先「まず自分の爪を見て下さい。爪が伸びてる人、きたない人、これはもう失格です。じゃあ袋を開けて下さい」  
バ「あつ、もう失格の人がいっぱいいるじゃない」  
先「開ける時に中身をはじっこに齧せて、

爪を立てないで切った人、これが正解。じゃあ目を開じて取り出して下さい。指で触って裏表がわかりますか?」  
バ「乳首みたいだね!」



パトの左側で“包茎チンチンの模型”を手に熱弁をふるう岩室先生



# OUT! COMING OUT!

パワフル HIV ポジティブ

## パトリックのカミングアウト大作戦

15日目

ちゃんとコンドームをつけていたのにH.I.V.に感染したパトリック。だからこそ教えます!! 知ってるつもりで意外と知らない、正しい方法

今週のカミングアウト

柏原祭 葉丸

武藏工大附属中高等学校

成城学園前駅から徒歩15分のところにある、武藏工大附属中高校。その日は学園祭ということで、華やかな空気に包まれていた。そこに怪しき男が2人。1人は生きる“治外法権”パト。そしてもう1人はパトの友達であり主医である、神奈川県秦野保健所と神奈川県立厚木病院の医師、岩室伸也先生。先生の肩に抱かれた大きなスポーツバッグの中にはびっかりとコンドームが詰まっていた。この日、2人は学園祭の実行委員会から“正しいコンドームのつけ方を教えてほしい”と頼まれてやってきたのだった。

高校の学園祭まで進出、コンドーム装着講座!!

撮影/高橋清人 イラスト/はだみちとし



# さすが今時の中学生、質問のストレートさにびっくり



講演会の最後に全校生徒がバトのために大合唱。思わず涙があふれて前を向くなってしまった……

講演会の最後に全校生徒がバトのために大合唱。思わず涙があふれて前を向くなってしまった……

**生徒**「あのー、くつだらいい質問なんですけど、コンドームが破れるほど激しいセックスしたんだとか？」  
**バ**「もう、あんたたち頭ん中セックスしかないんじゃないの……別に普通にしてたけどたまたま破けちゃったんだよ」  
**ステージの岩室先生がコンドームを取り出して膨らましはじめた。**  
**岩**「こんなに膨らむんですが、正しい使い方をしないと破けることもあります」  
**生徒**「感染してからセックス恐怖症になりましたか？」  
**バ**「なんないよ。HIVになつても誰かを愛してセックスしたいという気持ちは変わらないから」  
**生徒**「友達が離れたりはしませんでしたか？」  
**バ**「それもないよ。離れるどころか、逆にもつと仲良くなってる。僕は死んじやうかもしれないから、今の時間を大事にしましょうっていうのがあるからね」  
**生徒**「あのー、握手してください」  
**最初は怖いもの見たさだった中学生たち**だつたが、講演が終わる頃にはすっかりバトリックと解け合っていた。  
**岩**「こうやってバトちゃんがみんなと触れ合って元気になっているのが、発病を遅らせる一番いい方法なんですよ」  
**バ**「ほんとに、僕は今日いっぱい元気をもらつて、ありがとうございました。これからいろいろあると思うけど、僕もがんばるから、みんなもがんばってねー」  
**生徒**が合唱をした。バトリックの目からは涙が止まらなかつた。

ミラーボールには慣れてるけど、マックにあると変//  
 バトリックDJ情報●12/1(木)WORLD AIDS DAY DISCO BABY TRUE LOVE PARTY at YELLOW

## パトちゃん日記

11月11日

毎月30本はビデオを観ている僕。今日は久々に映画館に行つた。わくわくして本編の上映を待つていたが、延々25分もくつだらないコマーシャル。ちょっと、なんで高い料金払ってあんなもの観なきゃなんないの？しかもなんて皆おとなしく座つてんの？NYでこんなことやら絶対ブーリングの嵐だよ。もっと自分のお金を大切にしなさいよ。

11月15日  
自由ヶ丘でえぐいマクドナルドを発見。天井にいくつものミラー・ポールが……。ここは絶対昔DISCOだったDISCOと、爽やかマックを無理やりミックスさせた何とも言えないインテリア。凄い。その中で店員たちはマニユアル通り「ボテトはいかがですか」って満面の笑顔。なんだか怖い。

かいろいろあるから、ちゃんとやつたのか？」  
**バ**「うつらないよ。僕の汗に触つてもうつらない。ウイルスは空氣に触れるとすぐ死んじやうんですよ。次の人は？」  
**生徒**「ゲイなんですか？」  
**バ**「そうだよ。この中でゲイの人、手を挙げてください……いないのかな。まだわかんないよねー」  
**バ**「パトリックが走つていく。」  
**生徒**「初めてセックスしたのは何歳ですか？」  
**バ**「あまりに単刀直入な質問間に、それまでなんとか面白目な「講演会」っぽかった会場の雰囲気がいきなり崩れた。  
**バ**「あんたは、やつたことあんの？」なに？嘘つけよ。一番最初は13歳」  
**会場からオーッとどよめきが起こる。**  
**バ**「でも、セックスにはしゃぶつたりと

岩室先生まで……。」  
**バ**「100万回ぐらいじゃない。今だつたり前だよね」  
**バ**「えー、みんなやつてんのかい」  
**キヤーキヤー言いながら顔を伏せる女子生徒**の横で、しかめつ面の父兄。

かいろいろあるから、ちゃんとやつたのか？」  
**バ**「好きな人とセックスして……みんなセックスってわかるかなー」  
**HIVの話に静まり返つていた会場がだんだんざわめきました。**  
**バ**「みんな知つてんの。すげえ」  
**岩**「コンドームはしてたの？」  
**バ**「してたけど破れちゃつたんです。(会場に向かつて)ちょっと、ちゃんと聞いてんのかい」  
**バ**「マイクを持って生徒たちの質問を聞くためにステージを駆け降りていく。  
**生徒**「えーと、蛇でもエイズはうつるん？」  
**バ**「エイズじゃないよ。体の中にHIVのウイルスがすんでる人なんですよ」  
**岩**「ウイルスがあるだけまだ発病して

かいろいろあるから、ちゃんとやつたのか？」  
**バ**「うつらないよ。僕の汗に触つてもうつらない。ウイルスは空氣に触れるとすぐ死んじやうんですよ。次の人は？」  
**生徒**「今までセックスは何回しましたか？」  
**バ**「ハハハ……5000回ぐらいかな。一日7回やつたこともあるもん」  
**バ**「ハハハ……5000回ぐらいかな。妙になつてくる。

PTAと教育委員会とに嫌われる要素を寄せ集めて成り立つていてるバトがなぜか公立中学に招待された。まさかこんな時代が来ようとは……

今週のカミングアウト

横浜市立富岡中学

最近は公立の中学校でもエイズ教育は盛んに行われている。しかしそれは知識だけを得る「お勉強」の域を出ないものが多い。どこか人ごとのような、特殊な性生活をする人だけが心配すべきことのように感じてしまう。日本は大人でさえ現実的な意識を持てないのがエイズ問題の現状である。ましてや対象が中学生となれば、最初に必要なのは知識より意識。エイズ意識に現実味を帯びさせる最良の方法は、それを抱えて生きている人と接することだ。それをいち早く実践したのがこの富岡中学である。さて、中学生の反応は？

# OUT! COMING!

パワフル HIV ポジティブ

## パトリックのカミングアウト 大作戦

17 JUNE

公立中学校の生徒800人とその父兄を前に大講演会!!

撮影/高橋清人



親と子、師匠と弟子、さらにライバルであり友達でもある



「ストリップは裸を見せるんじゃなく、脱いでいく過程を魅せるもの」とお母さん。2人の衣装の豪華さに思わず“かぶりつき”的パトリック

「今までに困ったお客様はいませんでした？」  
娘 「ファンの人に京都まで追っかけてこられて、『僕は君のステージで何かを感じた。結婚してくれ』なんて……。こつちは何も感じてないって」  
バ 「ハハハ……オマンコ見せたからって勘違い野郎ばっかりか。毛深い話じやないです。」  
娘 「やめろなんていう人と結婚しませんよ」  
バ 「子供ができるなら？」  
娘 「とりあえずお母さんに預けてと(笑い)。もし女の子だったら後継がせるんだって」  
バ 「子供ができる」  
娘 「この子がいるおかげで私もまだ現役でいられるつてのもあ  
「今までに困ったお客様は  
いませんでした？」  
娘 「アーバル同士、負けて  
なんいつて」  
樂屋で、母親は自分の娘のことを「二代目」と呼ぶ。そんな「対等な親子関係にバトは羨ましげな視線を向ける。  
バ 「君はお母さんのおかげで今みたいに強くなつたじやない。僕も母親の影響を強く受けたんだけど、実の母親とは何年も会つてないんです。母親は僕をお医者さんとか弁護士にしたかつたらしいけれど……」  
なつたその時、お母さんがあたたかい笑顔がさっすが『お母さん』て感じ。僕

「学校で親の職業を聞かれた時は、芸能人って答えた」

その日、浅草フランス座では親子二代の花魁ショーが行われていた。パトリックが日本のストリップ（もちろん女性）を見るのは初めてである。

パトリック「NYで見たストリップはすごい気持ち悪かったんですけど笑い）。でも、今日は全然嫌だと思わなかつたの。ただオマンコ出してるより着物か足が出てたりするほうがずっとアヤシイ」

母「そうそう。脱いでいくのを見せるのがストリップなのよね」

バ 「お母さんはもう何年目ですか？」  
母 「17歳で始めて今年35年目。孫が10人  
もいるんですよ」

バ 「ジ、ジュウニン！ 娘さんは？」  
娘 「5年目です」

母 「でも子供の頃は嫌だったのよね」  
バ 「学校で『両親は何やつてますか？』  
って聞かれた時、なんて答えてた？」

娘 「芸能人（笑い）」

バ 「なんで子供の頃は嫌だったの？」  
娘 「……ストリップどうこうより、両親  
がいつも家にいないことが嫌だったのが  
な。それで、高校の時は家出したり」

バ 「お前、不良っ子だったのね！」

娘 「で、いろんな仕事を転々としたんで

「それが、結局家に戻つたんです」  
バ 「それって、両親のことを認められる  
ようになったからとか……」  
娘 「いや、ただお金なくなつたから（笑）  
い）。したら、母親が『この仕事してみ  
たら』って」  
バ 「今はお母さんと毎日会つてゐるでしょ  
う？ 母親っていうより、友達とかそういう  
うここまででいつてるんじゃない？」  
娘 「母であり、先生であり……」  
バ 「ここに来る前に親子のこといろいろ  
と考えたんだけど、例えば親が売春して  
たら自分もやつちやうとか、逆にすつご  
く勉強してお医者さんになるとか、いろい  
ろあると思うんですよ。君の場合は、  
しようがなくてやつてるのか、か、  
それとも自分でこれが好きだか  
らやつてるのか、どっちなのかな

娘「今は好きですね。重たい衣装を持つて全国巡業して、『他のコはただ脱ぐだけなのに、なんで私だけ』って、嫌にかけたこともあるんです。でも、ある劇場で身体障害者の人がタクシー飛ばして見に来てくれたことがあって、その時、ほんとにやつてよかつたなあつて思つたんですね。で、母に『やめたい』って思つた時はお客様さんが見たい時だぞ』って言われたのを思い出す。母が自分を演業に出したのは、そろそろ嫌になつてきてるのを察知したんだろうと……」

バ「結構すごい話だねえ」

娘「なんでも先々に言つてくれるんですよ。それが背後霊のようにこう……」

バ「ねえねえ、それってほんとの、スジママじゃない！」

# 脱ぐほどに深まっていく ストリップバーの親子関係

## 今週のカミングアウト



左／母：初代姿乃(53歳)  
右／父：二代昌道(63歳)

立っている。ストリップ界も例で底抜けに明るい親子を解剖す

「バトも少しば大人になつたね」「あんた全然かわんないわよ」

8年二三六禁のジミージズ・バーで2人は出会った。ママさんもよく覚えていっているという



直「あげてないつて！」  
バ「後輩は先輩よりすこいことやらなき  
やいけないんだって」  
直「それで過剰に変なことしちゃうわけ  
？ これじゃバトの昔の鋏い主としてカ  
ミングアウトしてるみたいじやない」  
バ「ほんとに、日本でこんなにいじめら



パトリックDJ情報●12/14(水)「AT HOME PARTY」at MANIAC LOVE

毎週たくさんのお手紙、ありがとうございます！でも、もっとお待ちしています!!  
あて先●西182-80(株)扶桑社 週刊SPA!「パトリック係」まで

バトちゃん日記

1  
月  
7  
日

**11月27日**  
**バトちゃん日記**

人がうじゅうじやいる日曜日の原宿でDISCO BABYのライブPRを行った。以前このページに登場してもらった三輪自動車オタクの仁クンのトラックにDJブースを設置して大音響で行進。トラックの周りにはあつと言う間に人垣ができるちゃって、即席タンスバーつい!このために前日「道路使用許可証」つてものを警察に取りに行つた。警察官つて僕より日本語会話知らないみたい。見下した喋り方で、すつごい態度。人間のコミュニケーションの基本を知らないんじやないの?

直「ハワイで養老院経営して、そこでJやるの」  
バ「いーじやん。みんな車椅子で踊つたりして(笑い)」

れるのは直だけだよ。直の最後のゴール

「ちよつと待つてよ！全然違つよ（笑）  
（い）。何なの、その強引なまとめは！」

「あらんだから！」

ながら才能を伸はそうとするもの」  
「そうかなあ。アメリカ人のほうが人の才能伸ばすんじゃない?」

「競争社会は日本も一緒でしょ」  
「そうじやないよ。向こうは働くのに最初はほとんど契約書とかないからすぐ

八「番嫌なのはアメリカ人のやり方。  
八「とと送の一た□の三活

# 二ボリカ人とアメホン人が激論!!となるはずが:

日本ハイテクされた米国人「バーチャル」の中国へ、これが日本で「メホン人」、前者のバトと後者に属する米国帰りの口ひが語った

摄影／高橋清人

OUT! CINING

パワフル HIV ポジティブ

パトリックの  
カミングアウト  
大作戦

19

**テーマについて話そと  
するほど、訳のわからぬ話へ**

**今週のカミングアウト**

**中村 直(なかむらなお)**

1963年、東京生まれ。日本のクラブDJブームの先駆け的存在である。'84に東京・六本木のバーで泥酔中にバトリックと出会い“意気投合”。「絶対ニューヨークでDJをやる！」という夢の実現のため、「86年にバトと渡米し、その後4年間共同生活をする。その間、バトは直さんの仕事のコーディネーション、通訳、レコードを持ちなどをして献身的に尽くした。やがてバト自身も見様見真似でDJを覚えた。つまり直さんはバトのDJの師匠である。現在もニューヨークと東京を行き来しながらDJ活動を続けている。

# 二ボリカ人とアメホン人が激論!!となるはずが:

# たった一人の自分しかいない人生なんて退屈すぎるよ



いざ、クリスマスパーティへ!! それにしてもこの2人に揃まるど、さすがのバトも「普通の人」に見える……

ル「難しいことを聞くヤツだなあ……おかつたと思ってるよ」  
バ「昼間は英語の先生してるけど、その二重性は自分の中はどうやって区別しての?」

ル「嘘をつく必要なんかないからね。僕はもう一人の自分に出会いえて本当によかったと思ってるよ」

ル「隠していないよ。別の人だもん。で、女装してる時の僕たちっていうのは自分の中の2人が一体になってる時の僕たちなんだ」

ル「仮面どころじゃないよ。水漬けにしてるんだ。可哀相に……だから、ハロウイーンの仮装みたいに脱いだり着たりで

ル「僕は内気な性格だからラティーシャがリーダーシップをとってる感じかな。ご飯とか作るのも全部彼女だし……」

ル「ルーリーンはすぐ頭がいいし、ほんとにスマートでスイートなんだよ。だから僕に合ってくれる。結局、性格が強いほうが指導権を握るんだ。僕らはうまくやつてるよ」

バ「世の中にはもう一人の自分に仮面を被つて生きてる人が多いと思うんだけど……」

ル「TV『えびす温泉』の収録のため、朝2時間もメイクしてサンプラザ中野さんと、ホームレスの人になった。会社員とかOJの人たちは、僕らを見ないようにして足早に通り過ぎていく。まるで仙人になつた気分。収録後、本物のホームレスの人に「わしゃ、そんなに汚くないよ」と言われちやつた。これはステオタイプのホームレスってことで許してね。テレビなんだし。」



さて、どっちが僕でしょう……わかるかな?

## パトちゃん日記

12月10日

パトリックDJ情報●12/31(大晦日) NEW YEAR PARTY IN 博多 at ダイナマイツ博多

HIVを持って8年目、ますます元気なパトリック、次週は今年を締め括るため(?)「バンジージャンプに挑戦」お楽しみに! パトリックへのお便りをお待ちしています!! 宛て先●〒162-80(株)扶桑社 週刊SPA! 編集部「パトリック係」まで

世の多くの人々が「もう一人の自分」を凍結させている  
女裝、といつても、写真を見ればわかる通り、2人のソレは並大抵ではない。

トイレで化粧を始めて1時間後、まだかつらを着けていない彼らが戻ってきた。パトリック「いつもこんなに時間かかるの?」

ル「1時間とか2時間とか……」  
バ「2人で女装のパフォーマンスを始めたのはいつ頃からだつけ?」  
ル「まだ1年ぐらいだよ」

## パトリックのカミングアウト大作戦

20 JUNE

今週のカミングアウト



キャンディ・パンティ

2人とも昼間は大学で英語の教師をしながら、夜になると女装のパフォーマンス活動をしている。今回は本名ではなく、「もう一人の自分」に付けた名前で取材に応じてもらった。  
(左)Lurleen/ルーリーン……1962年、アメリカ合衆国生まれ。アメリカの大学で英語教師をしていたが、どこか海外で仕事をしたくて日本の大学へ。滞在2年半。  
(右)Laticia/ラティーシャ……1968年、アイルランド生まれ。フランスへ渡りフラフラしていたが、お兄さんを頼りにオリエントエキスプレスに乗って日本へ。滞在3年半。

表現したいっていう強迫観念に駆られるんだよ」

バ「パフォーマンスしてるのは、自分の理由を聞きたいんだけど?」

ル「そりゃあ楽しいからだよ。大勢の人が僕たちを見て褒めてくれるなんて、最高じゃない」

バ「君たちは普段は男で、パフォーマンスの時は女でしょ。そういう両性を持つことを見つけてる?」

ル「僕らのジェンダーの構造は複雑にできていて、女装は表現の一つなんだ。日本にいるといつも『どこから来たの?』『何してるの?』って聞かれるでしょ。普通に女装もできないし……だからそれを

表現したいっていう強迫観念に駆られるんだよ」

バ「パフォーマンスしてるのは、自分の精神は女の感覚なの? それとも男なの?」

ル「それは男。僕にとってパフォーマンスはハロウィーンみたいなものなんだ。誰だってああいうお祭りは大好きでしょ?」

バ「その上で女を表現してるんだ」

ル「自分の中のフェミニンな部分を出したい……でも、一番大事なのは、僕がその行為に酔ってるってことなんだよね。僕はなるべく女になろうとしてるし、グラマーな女のイメージを追ってるんだよ。そのイメージっていうのは実際の女たちよりも綺麗で恰好良くて、女らしいんだよね」

バ「ラティーシャやルーリーンにはライラ、それに名前を付けて呼んであげたいって思ったの」

ラ「僕の中に違う人格があるんだったら、それにも名前を付けて呼んであげたいって思ったの」

バ「ラティーシャやルーリーンにはライラ・ストーリーはあるの?」

ル「ルーリーンは25歳の時に離婚して下町に引っ越してきた。それまでは上流社会でノホホンと暮らしてたけど、離婚して生活のために踊り子に身を落とした。いいでしょ、これ」

バ「ハハハ……生活のために堕落しあつた。ラティーシャは?」

ル「17世紀の典型的なヨーロッパの家庭みたいな嚴格な生まれで、格調高くしっかりしてるんだけど、貧乏なんだよ。何度か生活のために身を落としたけど、決してないんだよ」

バ「ハハハ……生活のために堕落しあつた。ラティーシャは?」

ル「17世紀の典型的なヨーロッパの家庭みたいに厳格な生まれで、格調高くしっかりしてるんだけど、貧乏なんだよ。何度か生活のために身を落としたけど、決してないんだよ」